

産業振興部

農林課

1. 農業振興係

農業振興計画に関すること

農業振興地域の整備に関すること

志摩市農業振興計画一般管理(8月、12月申請分)変更をした。

農業生産技術及び農業経営の改善普及に関すること

(1) 志摩市農業経営・生産推進協議会を開催。(7月14日・3月24日)

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想一部見直しについて検討

平成20年度農業生産者団体育成補助事業選考について審査

(4団体 事業総額 1,832千円 補助決定額 812千円)

(2) 志摩市地域担い手育成総合支援協議会を開催。(7月14日・3月24日)

認定農業者の認定審査(再認定3名)

経営基盤強化促進法に基づく基本構想に関すること

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想変更県協議をした。

利用集積計画作成をした。(33件 35,959㎡)

地域農業マスタープランに関すること

新規就農者・担い手対策に関すること

認定農業者期間満了者の聞き取り調査をした。(対象者6名)

米穀の生産調整に関すること

志摩市水田農業推進協議会の開催をした。(4月30日・3月11日)

平成20年度産地づくり計画の承認

平成21年度水稻生産目標数量の配分方法について

主要農産物の生産流通に関すること

農村地域の活性化に関すること

(1) 特産物販売施設の管理運営を行った。

(2) 特産物開発センターの管理運営を行った。

特産物の生産加工販売、

ジャム作り体験教室

シルバー人材センター農業支援講習会協力

果樹園芸の指導に関すること

柿の接木講習会の開催をした。(4月24日、12名参加)

ブルーベリー栽培講習会の開催をした。(7月10日、31名参加)

梅・柿の剪定講習会の開催をした。(12月5日、両方で56名参加)

ブルーベリー栽培講習会の開催をした。(3月6日、41名参加)

ブルーベリー苗の斡旋をした。(45件)

作物の防疫に関すること

農業金融に関すること

志摩市特別融資制度推進会議を開催した。資金活用決定(7件)

農業委員会との連絡調整に関すること

農業関係団体に関すること

(1) 鳥羽志摩営農連絡会議を開催した。(11回)

(2) 鳥羽志摩農業協議会にて下記の事業を行った。

総会の開催(6月27日)

オクラ、葉付たまねぎ等高齢者に適した作物の導入推進

隼人もウイルスフリー苗定植及び収穫、栽培指針の作成

営農相談会開催(6箇所)

農産物品評会開催(12月6・7日)

獣害対策講演会の開催(2月14日)

農業生産者団体の育成

インショップ開設・運営に対する支援

伊勢地域農業共済事務組合との連絡調整に関すること

水稻共済細目書、建物共済の取次をした。

その他農業振興に関すること

(1) 特産品の普及促進

ブルーベリー加工講習会を開催した。(9月28日、16名参加)

きんこ加工講習会を開催した。(12月9日、8名参加)

米沢もち麦加工講習会を開催した。(3月12日、12名参加)

(2) 地産地消の推進

JA鳥羽志摩主催の農業祭への協力

JA鳥羽志摩へ(アグリスクール他)900,000円市補助金支出

2. 農林畜産基盤整備係

森林整備計画に関すること

伐採届の受理をした。(9件)

造林に関すること

(1) 志摩市造林委員会を開催し、志摩市有林の管理について協議した。

報酬:335,000円

(2) 市有林の間伐を行った。

地区:磯部町恵利原地区

賃金:672,000円(7人、延べ79日)

事業内容:間伐

(3) 森林環境創造事業

森林の公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため森林の管理を行った。

総事業費:2,341,500円(県補助金1,873,200円・市負担金468,300円)

施工場所:阿児町地内 横山創造の森

事業内容:下刈り 4.44ha ケヤキ下刈り 2.15ha 間伐 0.91ha

施工場所:浜島町地内 磯笛公園(ヲバベタ山)

事業内容:歩道草刈 0.87ha 受光伐 0.97ha

施工場所:磯部町地内 漁火の森

事業内容:下刈り 2.25ha 車道整備 0.14ha 歩道整備 0.75ha

緑化事業に関すること

四季花咲くまちづくりを推進するため稲作後の水田、遊休農地等を利用して花の種子(ヒマワリ、コスモス)を蒔いた。また、創造の森桜園等の管理、山口農園の管理を行った。

(1) 福川原景観モデル事業

事業費:150,000円(委託料)、14,800円(種子等購入費)

事業内容:ヒマワリ、コスモスの作付け及び管理

(2) 四季花咲くまちづくり事業

事業費:352,845円(委託料)、328,925円(種子等購入費)

事業内容:コスモスの作付け及び管理

(3) 桜園等管理委託事業

創造の森桜園等の管理業務

事業費:257,906円(委託費)

業務内容:除草、施肥及び園内の下刈り

(4) 松くい虫防除事業

松くい虫の被害から松を保全する為に薬剤の地上散布を行った。

事業費:273,000円

施工場所:阿児町甲賀・安乗地内(阿児の松原・安乗岬園地)

事業内容:薬剤地上散布 2.5ha

松くい虫の被害から松を保全する為に薬剤の樹幹注入を行った。

ア 事業費:2,205,000円(県補助金 843,412円)

施工場所:阿児町安乗・甲賀地内(安乗岬園地・阿児の松原)

事業内容:薬剤樹幹注入 松 277本 薬剤 850本

イ 事業費:354,900円

施工場所:磯部町 阿児町 地内(小中学校等)

事業内容:薬剤注入 松 53本 薬剤 137本

松枯れの伐倒処理を行った。

ア 事業費:228,900円

施行場所:阿児町安乗地内(安乗岬園地)

事業内容:松枯伐倒処理

イ 事業費:25,000円

施工場所:志摩町布施田地内(布施田幼稚園)

事業内容:松枯伐倒処理

(5) 緑化団体の育成・支援

青少年の緑化への取組を推進するため、鶴方緑の少年少女隊に活動費の補助を行った。

活動費補助金: 50,000 円

(6) 山口農園管理業務

山口農園の除草、施肥、消毒等管理作業を行った。

12,000 円(肥料等購入費)、460,000 円(臨時作業賃金)

(7) 緑化推進委員会

緑化推進委員会会議を年 2 回開催した。

報酬: 111,000 円、旅費: 3,600 円

狩猟鳥獣に関すること

鳥獣飼養許可: 18 件

有害鳥獣駆除のための捕獲許可に関すること

(1) 有害鳥獣捕獲許可

有害鳥獣捕獲許可: 177 件

(2) 有害鳥獣防止対策

農作物等に被害を与える鳥獣を捕獲、駆除する。

有害鳥獣防止対策事業

猪等による農作物の被害を防ぐために、電気柵を支給した。

事業費: 5,320,689 円

受益者負担: 事業費の 1 / 2

増加する駆除依頼に対応するため、猟友会へ捕獲檻を貸出した。

事業費: 698,700 円

猟友会への有害鳥獣駆除委託

委託金: 640,000 円

家畜の防疫及び保健衛生に関すること

県が実施する現地調査及び統計調査及び苦情処理に協力及び同行した。

南勢家畜保健衛生所が実施する鳥インフルエンザ対策等に協力した。

土地改良事業に関すること

農業基盤の向上を図るため農道整備等を行った。

中山間地域総合整備事業

事業費: 210,000,000 円

負担金: 34,075,000 円

農林道及び農林業用施設の維持管理に関すること

(1) 農林道維持管理

林道五知恵利原線の道路除草(5,963m²)、側溝清掃(42m)、集水桝清掃(28箇所)、林道飯浜山田線の道路除草(3,044m²)、側溝清掃(7m)、集水桝清掃(2箇所)を行った。

林道維持管理業務委託料: 878,850円

農道大谷線及び4支線の道路除草(道路延長2,024m)を行った。

農道磯部浜島線の道路草刈(12,830㎡)、集水柵清掃(118箇所)、まぜ河内地区ふるさと農道の道路除草(3,840㎡)、集水柵清掃(34箇所)、側溝清掃(94m)を行った。

農道除草業務委託料:1,682,100円

(2)排水機場維持管理

湛水から防護するため施設の維持管理及び修繕を行った。

排水機場の維持管理等に関する運転管理の業務委託

下之郷排水機場運転管理委託料:240,000円

畔名排水機場運転管理委託料 :300,000円

阿児川排水機場運転管理委託料:120,000円

坂崎排水機場運転管理委託料 :240,000円

排水機場の維持管理に関する三重県土地改良事業団体連合会との(専門的)管理指導業務委託

排水機場管理指導業務委託料:2,908,500円

(3)農地海岸維持管理事業委託

旧磯部町分農地海岸維持管理事業の業務委託料:200,000円(2名)

旧浜島町分農地海岸維持管理事業の業務委託料:240,000円(2名)

災害復旧事業に関すること(農林水産施設災害復旧事業)

(1)平成20年4月17～18日発生豪雨災害復旧事業

磯部町穴川字中街道地内水路復旧工事:449,000円

施工内容:ブロック積工

阿児町神明字後地内田(畦畔)復旧工事:577,500円

施工内容:ブロック積工

(2)平成20年8月30日発生豪雨災害復旧事業

磯部町山原字口小河地内道路復旧工事:343,350円

施工内容:ブロック積工

阿児町鷓方字坂ノ下地内ため池復旧工事:446,250円

施工内容:ブロック積工

浜島町迫子字長芝地内田(畦畔)復旧工事:387,450円

施工内容:ブロック積工

(3)平成20年9月18～19日発生台風13号災害復旧事業

磯部浜島地区農免農道復旧工事:9,031,050円

施工内容:モルタル吹付け、鉄筋挿入工

磯部町築地字屋神地内田(畦畔)復旧工事:1,474,725円

施工内容:ブロック積工

磯部町築地字田代地内田(畦畔)復旧工事:1,563,450円

施工内容:ブロック積工

(4)その他災害復旧に関すること

阿児町鷓方地内農業用水路復旧工事:166,950円

施工内容:水路復旧

浜島町迫子地内農業用水路復旧工事:132,720円

施工内容:水路復旧

磯部町築地地内農業用道路復旧工事:299,985円

施工内容:玉石積工

水産課

志摩市の沿岸漁業は、古くから地域の経済を支えてきたが、漁場環境の悪化による生産性の低下と燃油高騰などのコストの増加に加え、世界的な経済状況の悪化による魚価安など、漁業経営の存続が危ぶまれる状態となっている。特に真珠養殖業は経済状況悪化の影響を強く受けており、急激に生産金額が低下している。

このような現状にあって、平成19年度に策定した志摩市水産業振興計画に基づき、水産業振興のための事業を関係機関と連携して実施した。

第1に「漁場環境の改善」施策として、海域の環境観測事業を実施するとともに、漁業者が実施する観測事業や底質改善事業に対して補助を行った。また、投石による積極的な漁場造成を実施した。

第2に「水産資源の適切な管理」施策として、マダイ、クルマエビ等広域で実施する種苗放流事業に対する負担や、アワビなど漁協が実施する種苗放流事業に対する補助を行うとともにアワビの種苗放流効果を検証するための事業を実施した。

第3に「経営基盤の強化」施策として、漁協合併に関する協議会への参加や、真珠養殖組合への経営支援を行った。

第4に「生産基盤の整備」施策として、安乗漁港において広域漁港整備事業(県営継続事業)、和具漁港において漁港漁場機能高度化統合補助事業(県営継続事業)を実施した。

また、名田漁港海岸において漁港海岸侵食対策事業(市営継続事業)を実施した。

その他、漁港及び漁港施設(公園・公衆便所)の維持管理、安全性・機能性向上などを目的に、維持修繕事業を行った。

第5にブランドの育成・振興施策として、漁業者が実施する各種水産物のブランド化事業への支援を実施するとともに、志摩市あおさプロジェクトによるあおさ養殖の積極的な振興を図った。

1 種苗放流(生産)事業(補助金)

水産資源の増大を図るため、漁協等が実施した各種種苗の放流及び生産事業に対して補助を行った。

(1)アワビ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、越賀漁業協同組合、布施田漁業協同組合、大王種苗センター運営委員会

事業費 : 10,661,151 円(内、市補助金 5,111,000 円)

事業内容 : アワビ 25mm 129,612 個を放流(種苗を購入して放流)
アワビ 25mm 25,000 個を放流(種苗を生産して放流)
アワビ 15mm 230,000 個を購入し中間育成後に放流

(2)サザエ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合

事業費 : 616,000 円(内、市補助金 241,000 円)

事業内容 : サザエ 18,200 個を放流

(3)ナマコ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合

事業費 : 1,292,000 円(内、市補助金 507,000 円)

事業内容 : ナマコ 19,403 尾を放流

(4)トラフグ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合、志摩南部地区ふぐ延縄連合組合

事業費 : 3,000,000 円(内、市補助金 1,102,000 円)

事業内容 : トラフグ 150,000 尾を中間育成・放流

(5)クロダイ

事業主体 : 鳥羽磯部漁業協同組合

事業費 : 148,000 円(内、市補助金 74,000 円)

事業内容 : クロダイ 3,700 尾放流

(6)カサゴ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合
事業費 : 1,000,000 円(内、市補助金 500,000 円)
事業内容 : カサゴ 20,000 尾放流

(7)ヒラメ

事業主体 : 志摩の国漁業協同組合
事業費 : 720,000 円(内、市補助金 360,000 円)
事業内容 : ヒラメ 24,000 尾放流

2 種苗放流事業(負担金)

(財)三重県水産振興事業団が事業主体となっを行なうマダイ、クルマエビ等の種苗放流事業の経費を負担した。

(1)クルマエビ・ヨシエビ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 1,150,000 円
事業内容 : クルマエビ、ヨシエビを放流。
放流尾数:クルマエビ 1,000,000 尾を中間育成後放流
ヨシエビ 150,000 尾を中間育成後放流

(2)マダイ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 1,062,000 円
事業内容 : マダイ種苗 100,000 尾を中間育成後放流。

(3)アワビ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 500,000 円
事業内容 : 造成漁場におけるアワビ種苗放流事業の効果を確認するために放流した標識を着けたアワビの漁獲調査を甲賀と片田地区において実施した。

3 英虞湾観測事業(補助金)

英虞湾における真珠養殖漁場の海況変化や赤潮の発生を早期に発見し、迅速な対応を図るため、定期的な海況観測、水質調査を実施する真珠組合・真珠研究会に対し補助を行った。

事業主体 : 三重県真珠養殖漁業協同組合、立神真珠研究会等
事業費 : 2,441,859 円(内市補助金 1,000,000 円)
事業内容 : 定期的な海況観測、プランクトン観測の実施

4 沿岸漁業経営構造改善事業

(1) 築いそ

漁業基盤の整備による磯根資源の増大を図るため、波切地区地先において、投石事業を行った。

施工業者：セイケン工業株式会社

工事請負費：3,811,500 円

事業内容：1000kg 内外自然石 801 m³投入

5 県単沿岸漁場整備事業

(1) 築いそ

漁業基盤の整備による磯根資源の増大を図るため和具地区地先において、それぞれ投石事業を行った。

(和具地区)

施工業者：伊藤建設(有)

工事請負費：2,451,000 円

事業内容：1t 内外自然石 506 m³投入

(2) 底質改良剤散布(補助金)

アコヤガイに被害を及ぼす貧酸素水塊等の発生を抑制し、安定した真珠の生産を維持するため、真珠養殖漁業協同組合が底質改良剤(クリアウォーター)を散布する事業に対し補助を行った。

(神明地区)

事業主体：神明真珠養殖漁業協同組合

事業費：4,000,000 円(内、補助金 2,800,000 円)

事業内容：底質改良剤(クリアウォーター)1,191 袋の散布

6 漁場環境調査事業

英虞湾、的矢湾の漁場環境を把握し、適正な漁場管理を行うための資料とするため、英虞湾、的矢湾において漁場環境調査を実施した。

(1) 英虞湾

受託業者：三重県

委託料：1,000,000 円

事業内容：英虞湾内20測点における水質、底質調査を実施

(2) 的矢湾

受託業者：(株)西日本技術コンサルタント 三重事務所

委託料：441,000 円

事業内容：的矢湾内5測点において、年2回の水質・底質・底生生物調査を実施

(3) 的矢湾(伊雑の浦)

受託業者 : 芙蓉海洋開発(株)三重センター

委託料 : 336,000 円

事業内容 : 伊雑の浦の深浅測量を実施

7 種苗生産施設の管理運営

阿児増殖センター及び大王種苗センターの管理運営を行った。

事業費 : 6,254,122 円

事業内容 : アワビ稚貝 100,000 個を中間育成(阿児増殖センター)。

8 漁港関係事業

(1) 安乗漁港県営広域漁港整備事業(負担金)

安乗漁港は、中型まき網船の操業により、用地及び係留施設が現在不足している。陸揚げ作業が集中する時間帯には、漁船は相当な時間待機しているため、用地整備、陸揚げ係留施設整備を行ない、作業及び流通効率の向上を図る(用地については平成 19 年度に整備済)。

平成 20 年度は、平成 19 年度に実施した泊地浚渫の残土処分(V=932m³)、蓄養岸壁(L=63m)の整備、蓄養岸壁背後の施設に対する工損事前調査(委託)を実施した。

事業主体 : 三重県

施工業者 :

- ・ 浚渫土処分工事 (有)アイビー造園
- ・ 蓄養岸壁その3工事 磯部建設工業(株)
- ・ 工損調査業務委託 丸栄調査設計(株)

総事業費 : 110,000,000 円

市負担金 : 26,900,000 円[(蓄養岸壁)事業費 × 2.5/10、(泊地浚渫)事業費 × 1/10]

(2) 和具漁港県営漁村再生交付金事業(負担金)

平成 19 年度からの新規事業で、安全な港づくりの推進のため事業を実施している。

平成 20 年度は、大中型漁船の入港を容易にし、県外からの利用漁船の増加を図るため、湾口にある消波ブロック(ブロック 439 個、方塊 205 個)を転置した。

また、西側道路排水路の排水口改良と東側護岸の嵩上げ(テスト)を行った。

事業主体 : 三重県

施工業者 :

- ・ 県営漁村再生事業工事 (株)亀川組
- ・ 県営漁村再生事業設計業務委託 南海カツマ(株)

総事業費 : 120,000,000 円

市負担金 : 30,000,000 円[事業費 × 2.5/10]

(3) 安乗漁港県単改良事業(負担金)

漁港関連道の供用開始に伴い地元から道路照明設置の要望があり、防犯灯を6基設置した。また、既設側溝の改修を行った。

事業主体：三重県

施工業者：

- ・ 道路照明：(有)アイビー造園
- ・ 側溝改修：磯部建設工業(株)

総事業費：3,000,000 円

市負担金：1,200,000 円[事業費 × 4/10]

(4) 和具漁港県単改良事業(負担金)

網干場、野積場から流出する土砂が側溝に堆積して排水を阻害しているため用地舗装(A=754 m²)を行った。また、腐食が激しい既設係船環の交換を行った。

事業主体：三重県

施工業者：(株)岡権組

総事業費：2,300,000 円

市負担金：920,000 円[事業費 × 4/10]

(5) 名田漁港海岸保全施設整備事業(国補)

名田漁港海岸においては、長年に渡り波浪の影響を受け、天然護岸の侵食面が背後集落に近づいてきており、消波ブロックの設置により更なる侵食を防ぎ、背後集落の防護を行う。20年度は仮設道路工(L=80m)の設計及び施工を行った。

事業主体：志摩市

受託業者：三重県建設技術センター(設計)

施工業者：作田建設(有)

総事業費：50,000,000 円

(6) 漁港施設(公園・トイレ)清掃委託料

漁港施設(公園4箇所・トイレ13箇所)の清掃作業について委託契約を締結し、維持管理を行った。

受託業者：志摩市シルバー人材センター、他6者

委託料：1,233,384 円

商工課

アメリカのサブプライムローン問題に端を発した欧米景気の後退、またそれに同調するように進んだ円高の急進などによって、国全体の景気の先行きに関する不透明感がより一層強まり、その影響は国内大企業はもちろんのこと、とりわけ中小企業に多大な影響を及ぼしたことは否めない。そして、これらの影響はやがて非正規労働者の大量解雇という人々の生活を直撃する事態へと発展していった。

このような状態は三重県内においても同様の傾向が見られ、この志摩地域においては長引く地場産業の低迷に苦慮する状況が続いているのは変わりなく、依然として厳しい現状が続いていると言わざるをえない。

このような状況を打破し、地域における商工業の振興を図るにあたっては、国及び県で行う各種の景気回復策に同調して施策を展開することが必要不可欠であると考え。

また、地域の商工業者との係わりが深い地元商工会との連絡調整は不可欠であり、常に連携を図りながら、地域の特性を生かした事業展開を推進し、中小企業及び個人事業者の安定と振興並びに経営革新を図るように努めた。

(1) 商工振興

- ・地域商工業の振興に関する事務(補助金交付事務を含む。)
- ・地域における起業支援の一環として起業家支援事業の実施
- ・地元特産品県外PRのための宣伝事業の実施
- ・中小企業融資制度に関する事務

(2) 消費者行政

- ・消費生活相談の受付対応、多重債務者相談会の開催
- ・生活情報、暮らしの知識の啓発
- ・消費者啓発リーフレットの配布、消費者トラブル啓発活動地域リーダーによる啓発講座

(3) 労働行政

- ・雇用安定対策に関する啓発
- ・最低賃金周知に関する啓発

(4) 商工祭

- ・地域住民総参加のふれあいの場として、また地域の活性化と地域産業の発展を図ることを目的として開催された阿児地区の「ええじゃんかまつり」と磯部地区の「いそべまつり」に対し、各々の実行委員会に補助金を交付し、開催について後援・協力した。

(5) サンアール磯部関係

- ・穴川地区地域振興協力金:磯部町穴川字斧峠に愛知県競馬組合が運営する場外馬券発売所を設置するにあたり、同組合より志摩市に支払われる納付金の一部を、地縁団体穴川区に協力金として支払う旨を記載した「覚書」に基づき支出した。

協力金支出額 1,558,000円

愛知県競馬組合H20交付金 2,596,674円 × 6/10 = 1,558,000円(千円未満切捨)

(6) 補助事業

商工会運営補助金	26,280,000円
商工会事業補助金	2,900,000円
伊勢志摩真珠フェア補助金	160,000円
新起業家支援補助金	400,000円
南志摩たばこ販売協同組合補助金	500,000円
街路灯組合補助金	499,000円
志摩町商工業協同組合補助金	480,000円
ええじゃんかまつり補助金	2,000,000円
いそべまつり補助金	1,400,000円

観光戦略室

観光関係

平成19年国が策定した観光立国推進基本計画の目標を達成し、観光立国の実現を図るため、平成20年10月、国土交通省の外局として観光庁が設置された。これに伴い、2泊3日以上滞る型観光につながる地域づくりに向けて「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」が施行。この法律に基づき、国から総合的な支援を5年間受けることの出来る観光圏整備事業の対象となる“観光圏”として、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町の3市1町からなる「伊勢志摩地域観光圏」が認定された。

今後、この事業の計画に基づいた伊勢志摩地域の観光施策の実施や魅力ある観光地づくりを進め、長期滞在型観光の促進に取り組むこととなる。

平成20年度においては、観光圏整備実施計画を策定するとともに、観光客誘客のため、テレビ局、マスコミ関係からの取材に対する協力及び新聞、旅行雑誌等への宣伝活動、志摩市のホームページを利用した情報発信の充実を図ったほか、各種イベント等観光協会をはじめとする関係機関や各種団体と連携を強化して、志摩市への誘致宣伝に努めた。

また、志摩市の特産品である「あおさ」の消費拡大と認知度向上を目的として、「あおさプロジェクト」を関係各部署と連携して展開した。

なお、平成20年の観光客入込数は約427万人で、前年との比較では、日帰り客数は減少しているものの宿泊客数は増加傾向であった。

(1) 観光関係団体に関すること

志摩市観光協会をはじめ、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構、(財)伊勢志摩国立公園協会などの関係機関・団体等との連携、相互協力による地域イベントの実施により誘客に努めた。

(2) 観光施設の整備、運営に関すること

パークゴルフ場の管理に関すること

老朽化したフェンスの改修とともに新たに1コース9ホールを増設し、全5コースとするなど利用者の利便性と利用率の向上に努めた。

阿児の松原スポーツセンターの管理に関すること

通年テニスコート及び駐車場の管理運営を行うほか、7月19日から8月31日の間プールを開設した。

自然公園の管理に関すること

伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、(財)伊勢志摩国立公園協会並びに環境省自然保護官等と連携を図り、GGG 緑化事業、国立公園清掃事業の窓口を担い、園地等の管理及び美化清掃活動を行った。

その他、海水浴場、わんさかわんさ、近畿自然歩道など観光施設等の管理・運営業務及び市内44箇所の公衆トイレの清掃、維持管理業務の委託を行った。

市内海水浴場においては、7月19日から8月31日の間、阿児の松原海水浴場を拠点として、ライフセーバーを配置し、「安心・安全な海水浴場」のイメージアップを図るとともに「志摩コーストガーディアンズ」の防災訓練への参加、ジュニアライフセービング教室も3回開催した。

また、道の駅「伊勢志摩」・南張海浜公園・安乗埼灯台資料館については、引き続き指定管理者制度により管理運営を行った。

(3) 観光誘致宣伝に関すること

10月1日から3月31日の間、伊勢市・鳥羽市・県等と連携して、官民一体となった「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、関西を中心とした旅行エージェント関係等への宣伝活動や各種イベントを開催して観光PR活動を行ったほか、2月に東京と大阪で開催された(社)三重県観光連盟主催のメディア交流会へ観光協会と共同で参加し、三大グルメ(伊勢えび、あおりふく、的矢かき)をPRした。

5月には奈良市で開かれた「平城遷都祭」、愛知県豊川市で開催された「おいでん祭」へそれぞれ参加し、地域間の交流を深めるとともに誘致宣伝活動を行った。

また、マスメディア関係からの取材依頼に対する協力や伊勢志摩フィルムコミッションへの支援、旅行雑誌などへの広告掲載を行い、志摩市の知名度の向上を図った。

その他、志摩市観光PRポスターをB1、B2サイズそれぞれ2種類ずつを刷新し、市内外の主要施設に掲示するなど誘客宣伝を図った。

(4) 教育旅行の誘致に関すること

三重県、伊勢志摩地域の3市1町(伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町)、各観光協会、商工会議所、商工会、漁協、宿泊施設、観光施設、旅行会社など、55団体が一体となり国内・海外からの学生団体旅行等を伊勢志摩地域へ誘致することを目的に発足した「伊勢志摩学生団体誘致委員会」の会員として、学生団体旅行等の誘致活動を行なった。

主な活動内容

- ・ 近鉄到着駅での歓迎セレモニーの実施(3校)
- ・ 7月1日～3日・8日～10日 首都圏公立中学校集中セールスキャラバン
神奈川県横浜市・川崎市・大和市の公立中学校119校の訪問に参加
- ・ 7月28日 伊勢志摩修学旅行「体験学習」発表会
川崎市産業振興会館にて、志摩市をPR。
- ・ 8月 教職員現地視察研修招聘により、志摩市においては志摩自然学校にて体験実施。
- ・ 11月 ・志摩地域の学生団体誘致と観光客誘致に向けた意見交換会を開催
・横浜市・川崎市公立中学校と旅行業者を訪問セールス
- ・ 12月 観光促進のための受け皿強化「おもてなし」についての講演会に参加
- ・ 1月 神戸市公立小学校体験学習委員会に出席・説明
- ・ 2月 ・大阪府小学校校長会修学旅行情報交換会に出席・関係者と意見交換
・明石市公立小学校校長会に出席・説明
・19日～20日 明石市・神戸市内公立小学校197校訪問セールス参加
・体験指導者研修参加(南伊勢町)

(5) スポーツコンベンションに関すること

11月7日～9日に開催された全米女子プロゴルフ協会公式戦「ミズノクラシック～伊勢志摩～」において、主催者側との連絡調整やボランティアスタッフの募集など、大会支援の窓口として対応するとともに、鵜方駅・賢島駅を中心とした環境整備(プランター花壇)や出場選手紹介パネルの掲示、主要道路周辺への「のぼり旗」の設置などを行い、来訪者の歓迎を演出した。また、会場内の観光PRブースにおいて、「あおさ」の認知度アンケートを実施し、あおさノベルティを配布するなど「志摩のあおさ」のPR強化を図った。

その他、8月に行われた「SHIMAビーチパーティ」や9月に開催した「全国シニアソフトボール古希志摩大会」などの実行委員会等に参加し、運営面での協力や支援を行うとともに来訪者への観光PR活動に努めた。

(6) 観光客の集客交流に関すること

11月24日には志摩スペイン村と連携し、「志摩のまつり in パルケ」において志摩市の伝統文化の披露や体験イベントを開催し、市民・観光客ら来場者の交流を図った。

(7) エコツーリズムに関すること

英虞湾をフィールドとしたエコツーリズムの推進や二次交通の整備について、昨年協議を重ねていた「英虞湾自然体験観光推進協議会」が、事業実施に向けた取組を行うため新たに「英虞湾観光ネットワーク」として4月に発足した。

この英虞湾観光ネットワークによる事業として、来訪者に真珠のふるさと英虞湾の魅力を感じてもらい、各種体験メニューを提供するとともに二次交通の整備の一つとして周遊船を運航させた「あご湾自然体験ものがたり」が7月19日から8月25日の間実施され、当初よりこの事業に参画した。

その他、志摩市全域をフィールドとした自然体験プログラムを企画し、実施することによりエコツーリズムの推進拠点となる「志摩自然学校」運営の業務委託を行った。

(8) 観光統計に関すること

市内各宿泊施設や観光施設の協力のもと、入込み客数について志摩市観光協会に委託し調査を行った。

(9) 施設利用状況

施設	利用者数 (人)	使用料(円)
道の駅「伊勢志摩」	212,855	
志摩パークゴルフ場	38,337	7,542,200
阿児の松原スポーツセンター	14,137	4,267,900
内訳	プール	5,676
	テニスコート(駐車場利用含む)	8,461
産業振興会館「ちちろ」	997	
集客交流拠点施設「わんさかわんさ」	7,798	

(11) 工事関係 (円)

パークゴルフ場コース増設工事費	2,394,483
-----------------	-----------

(12) 補助金及び負担金事業 (円)

伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会負担金	150,000
メディア交流会参加負担金	60,000
東海地区外国人観光客誘致促進協議会負担金	200,000
三重県観光連盟負担金	829,000
伊勢志摩観光コンベンション機構負担金	10,863,349
伊勢志摩国立公園協会負担金	986,000
伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会負担金	6,800,000
伊勢志摩国立公園清掃活動事業負担金	685,000
伊勢志摩キャンペーン負担金	4,000,000
伊勢志摩ビジターセンター管理分担金	117,000
三重テレビ放送「新番組」制作負担金	1,850,000
伊勢志摩学生団体誘致委員会負担金	600,000
観光協会運営補助金	16,000,000
観光協会事業補助金	6,450,000
阿児の松原海水浴場運営補助金	1,000,000
温泉振興補助金	35,229,000

浜島磯体験施設「海ほおずき」

磯体験施設「海ほおずき」は、平成 16 年 4 月開館し、平成 20 年度も「都市と漁村の交流の促進」、「水産業の健全な発展と調和」という施設整備の主旨に沿い、下記の各体験事業を実施した。

1. 体験者数及び収入状況

(1) 磯体験事業

磯体験については、4月1日オープンし、10月末で終了した。

11月1日から3月末まで「アジ釣干物体験」を実施、3月末には「あおさ収穫体験」事業を実施した。

利用者数	大人	10,426人
	小人	5,166人
	計	15,592人

収入状況 4,810,022円

(2) 故郷料理体験事業

郷土料理(てこね寿司(海鮮カレー・チャーハン等含む)、沖おにぎり、漁師の朝食)を、提供し食することにより、郷土の魚食文化、生活習慣の紹介を行った。

利用者数

てこね寿司(海鮮カレー含)体験	1,032人
沖おにぎり体験	1,009人
漁師の朝食体験	28人
計	2,069人

収入状況

てこね寿司(海鮮カレー含)体験	958,700円
沖おにぎり体験	493,400円
漁師の朝食体験	36,400円
計	1,488,500円

(3) 水産加工体験事業

新鮮な材料による干物造り体験(魚種:アジ、カマス、サンマ、その他)を実施した。

(課題:消費者の魚離れ、消費拡大、魚価の低迷等)

利用者数 1,304人

収入状況 642,800円

(4) 学習体験事業

びん玉作り(びん玉の用途、使用方法、作り方等について)、ルアーホルダー作り(模擬ルアー作り)、プレート作り(木型で作ったプレートに色を付けることにより魚種の紹介)、塩作り(海水から真塩が出来ること、身近な環境問題)、淡水真珠ストラップ作り(淡水真珠、ビーズ、釣り糸、魚の模型を利用したストラップ)、シェルアート作り(タイルに魚の形を書き、あこや貝を貼り付け色付けをする)等の学習体験を実施した。

びん玉作り体験

ア. 体験者数 54人

イ. 収入状況 55,000円

ルアーホルダー作り体験

ア. 体験者数 263人

イ. 収入状況 78,900円

プレート作り体験

ア. 体験者数 109人

イ. 収入状況 54,500円

塩つくり体験

ア. 体験者数 38人

イ. 収入状況 17,100円

ストラップ作り体験

ア. 体験者数 412人

イ. 収入状況 206,000円

シェルアート作り体験

ア. 体験者数 208人

イ. 収入状況 103,500円

ペーパークラフト体験

ア. 体験者数	32人
イ. 収入状況	6,400円

海がめ物語体験

ア. 体験者数	627人
イ. 収入状況	9,000円

学習体験計	体験者数	1,743人
	収入状況	530,400円

(5) その他事業

自家製干物販売収入	169,100円
ゼリー、タオル販売収入	129,140円
自動販売機等手数料	136,420円
計	434,660円

2. 主な歳出の状況については、次のとおりである。

(1) 各体験教室原材料仕入れ費	1,494,237円
(2) 魚類購入費	890,526円

ともやま公園事務所

1. 事業関係

本年度の事業としては、施設利用者数は、キャンプ村 6,746 人(前年度 5,423 人)野外活動センター 3,855 人(前年度 3,286 人)球場 5,037 人(前年度 5,984 人)テニスコート 1,428 人(前年度 1,198 人)屋内運動場 4,786 人(前年度 5,168 人)トレーニングルーム 369 人(前年度 313 人)プール 3,562 人(前年度 3,188 人)海水浴場 13,121 人(前年度 10,388 人)イベント広場 15 人(前年度 346 人)となった。

キャンプ村利用団体数は、県外 24 団体(前年度 22 団体)、県内 11 団体(前年度 11 団体)、市内 13 団体(前年度 8 団体)の合計 48 団体(前年度 41 団体)、野外活動センター利用団体数は、県外 29 団体(前年度 20 団体)、県内 16 団体(前年度 22 団体)、市内 9 団体(前年度 8 団体)の合計 54 団体(前年度 50 団体)となった。

野外体験活動としては、らでん細工教室 3 回 99 人(前年度 2 回 95 人)イカダ体験教室 20 回 1,475 人(前年度 18 回 1,493 人)ウミホタル自然観察会 41 回 2,285 人(前年度 44 回 2,028 人)ストーンペインティング教室 1 回 4 人(前年度 3 回 61 人)フィールドビンゴ 1 回 26 人(前年度なし)星空観察会 2 回 48 人(前年度なし)を実施した。

2. 平成 20 年度ともやま公園施設利用状況

	施設名	H19 利用者数	H19 商工使用料	H20 利用者数	H20 商工使用料
	ともやま公園 キャンプ村	5,423	4,486,390	6,746	5,440,630
	ともやま公園 野外活動センター	3,286	6,200,250	3,855	7,385,750
	ともやま公園 多目的屋内運動場	5,168	608,550	4,786	558,050
	トレーニング室	313	30,500	369	42,600
	ともやま公園 イベント広場	346	12,250	15	2,000
	ともやま公園 プール	3,188	380,600	3,562	407,000
	ともやま公園 球場	5,984	519,250	5,037	504,000
	ともやま公園 テニスコート	1,198	424,000	1,428	434,450
	次郎六郎 海水浴場	10,388	0	13,121	0
	シャワー	0	244,100	0	266,400
	売店土地使用	0	200,000	0	200,000
	ロッカー	0	110,000	0	117,800
	駐車場管理	0	853,600	0	800,000
< 合計 >		35,294	14,069,490	38,919	16,158,680

3. 平成 20 年度の主な支出状況

ともやま園地維持管理負担金	450,000 円
ともやま公園夏季臨時バス助成金	1,063,585 円
次郎六郎海水浴場送迎委託料	660,889 円